

科目ナンバー	PUA-4-001-k			科目名	環境政策		
教員名	学生センター			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	実務経験のある教員による授業科目。 群馬県では、県の環境政策を総合的に進めるため、第15次県総合計画「はばたけ群馬プランII」を環境面から推進する「群馬県環境基本計画(20162019)」を平成28年3月に策定しました。環境に関する最新の情報を交えながら、自然環境、循環型社会、生活環境、地球温暖化、環境活動について講義します。						
到達目標	身近な生活レベルから、県、国、地球規模まで、我が国の環境問題の変遷と群馬県における環境行政の実際について知識を得るとともに、今後の人口減少社会が環境にどう影響してくるのかを探ります。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義形式(複数の先生による講義:オムニバス形式)で行います。						
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	特になし。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点とレポート						
教材	教材は、毎回持参します。						
参考図書	○群馬県ホームページ(http://www.pref.gunma.jp/)・群馬県環境基本計画(20162019) http://www.pref.gunma.jp/04/e0100622.html ・第二次群馬県循環型社会づくり推進計画 http://www.pref.gunma.jp/04/e1600131.html ・群馬県環境白書 http://www.pref.gunma.jp/04/e0110002.html ○群馬県産業廃棄物情報(http://www.gunmasanpai.jp/)						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	・シラバス授業						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	・環境基本計画総論 平成27年度に群馬県が策定した「環境基本計画(20162019)」について、策定の考え方、本県の現状を踏まえた基本構想と人口減少社会に向けた具体的な施策となる基本計画の6つの柱(①地球温暖化の防止、②生物多様性の保全・自然との共生、③森林環境の保全、④生活環境の保全と創造、⑤持続可能な循環型社会づくり、⑥全ての主体が参加する環境保全の取組)について概観します。						
授業外学修内容						時間数	
3週目							
授業学修内容	・群馬県の生物多様性について 平成28年度に策定した「生物多様性ぐんま戦略」を中心に、群馬県の生物多様性について講義します。						
授業外学修内容						時間数	
4週目							
授業学修内容	・鳥獣保護管理と狩猟の適正化について 野生鳥獣を取り巻く現状、課題と対策について講義します。						
授業外学修内容	人間の生活域と野生動物の生息域の重なりについて、どうあるべきか考えてみましょう。					時間数	1
5週目							
	・群馬県の自然公園等について 本県には、尾瀬国立公園など4つの国立・国定公園や、赤城公園など3つ						

授業学修内容	の県立公園があります。自然公園等の意義や尾瀬における取り組みなどを通して、自然の大切さや私たち人間の関わり方について考えてみましょう。		
授業外学修内容		時間数	
6週目			
授業学修内容	・公害対策から環境保全へ 環境基本法など環境関係法令の概要について学ぶとともに、過去に発生した公害問題(足尾鉬毒、水俣病など)について振り返ってみます。現在では、どのような問題が起こっているのか、その原因や対策について学びます。		
授業外学修内容	自分なりの環境問題への関わり方を考えてみましょう。	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	・水環境について 群馬県の河川の状況を理解し、水質を汚濁する原因について考えるとともに、河川の水質を維持・向上させるための対策が現在どのようになっているかについて学びます。		
授業外学修内容		時間数	
8週目			
授業学修内容	・大気環境について 最近話題となっているPM2.5や光化学オキシダントなどの物質による大気汚染について、群馬県の現状を知るとともに、その原因は何か、その対策としてどのようなものがあるのかについて学びます。・放射性物質対策について群馬県における放射線量の状況を把握するとともに、放射性物質対策の現状がどうなっているのかを解説し、我々の周りにある放射線について正しく理解します。		
授業外学修内容	よりよい大気環境をつくるためには何が必要か考えてみましょう。	時間数	0.5
9週目			
授業学修内容	・循環型社会づくりの推進 循環型社会の意義や3Rの必要性を把握します。・廃棄物行政の趣旨と現状 廃棄物の定義等を把握するとともに、家庭ごみから産業廃棄物まで、廃棄物の現状や不適正処理の実態を把握し、問題点・課題を探ります。		
授業外学修内容	日常生活と廃棄物の関わりについて考えてみましょう。	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	・廃棄物処理法による規制 廃棄物処理法の規制内容等を確認しながら、廃棄物の適正処理を確保するための政策や行政の役割を学びます。・廃棄物処理施設設置に係る問題点 廃棄物の適正処理に不可欠な廃棄物処理施設の設置に関する問題点や設置が困難となっている状況を把握するとともに、問題解決に向けてとるべき対応を探ります。		
授業外学修内容		時間数	
11週目			
授業学修内容	・各種リサイクル法による処理 各種リサイクル法による廃棄物のリサイクル推進に係るシステムを学びます。・第二次群馬県循環型社会づくり推進計画 持続可能な循環型社会づくりについて考えます。		
授業外学修内容	循環型社会づくりのために、今何ができるか考えてみましょう。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	・地球温暖化の仕組み、影響、状況について 温暖化の仕組み、温暖化による影響と将来予測、CO2排出量の状況について学ぶことで、温暖化全般を理解します。・世界・日本の温暖化対策について 地球温暖化に関する国際交渉の状況、日本の温暖化対策の仕組み等について学びます。		
授業外学修内容		時間数	
13週目			
授業学修内容	・群馬県の地球温暖化対策について 群馬県では、「県地球温暖化対策実行計画」を策定し、県民、事業者、市町村、関係団体等と連携・協働し、目標達成に向けて取り組んでいる。その具体的な内容を学ぶ。(1)「県地球温暖化対策実行計画」の概要(2) 節電・省エネの推進(家庭、事業者、県)(3) 再生可能エネルギーの導入促進(太陽光発電等)(4) 自動車対策(低燃費・低公害車の導入促進等)(5) その他(森林整備・木材利用の促進など)		
授業外学修内容		時間数	
14週目			

授業学修内容	・家庭でできる地球温暖化対策「省エネ・節電」について 温暖化の原因となっている二酸化炭素などの温室効果ガスを減らすためには、家庭での「省エネ・節電」が必要です。また、電気料や燃料代を節約する省エネ・節電は家計にも優しい取組です。「無理なく、効果的で、スグできる」省エネ・節電・節水の方法を講義します。		
授業外学修内容	地球温暖化問題について学んだことにより、今後、自分がどのような取組ができるのか考えてみましょう。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	・あらゆる主体による自主的な環境活動について 県民、地域、民間団体や事業者などの各主体が、環境問題への取組を自らの問題としてとらえ、行動することが求められています。私たち一人ひとりができることについて考えます。		
授業外学修内容		時間数	
上記の授業外学修時間の合計		4.5	
その他に必要な自習時間		85.5	

Number	PUA-4-001-k	Subject	Environment Policy		
Name	学生センター	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	0 This class is provided by staff from Gunma Prefectural government. With the latest information on the environment, students learn about the natural environment, recycling-based society, the environment we live in, global warming, and environmental activities.				